

第 1 部会 産業・商業分野

1 審議会での主な意見

■既存事業・新規事業

- ・ 気概をもって挑戦し続けている既存事業者が多い
- ・ 優しい出口戦略も必要（企業の終活支援）
- ・ 事業者間のつながりを ・ 区内の商業力の活用
- ・ 伝統と革新のまじりあった、新しい事業展開、新たな時代・ニーズの流れに沿った仕事
- ・ マネタイズ（稼ぐ力） ・ ゼロから生まれるイチ、イチから生まれるサン
- ・ 既存の資産をたくさん使える環境
- ・ 暮らしやすい・利便性の高いアクセス環境の提供＝スタートアップとの親和性が高い
- ・ 人材づくり⇒区へ還元する循環づくり ・ 活力⇒新たなエネルギー、まちの賑わいにつながる

■商業

- ・ 商業について、日常使いとハレの日使いを分けて整理が必要 ・ 付加価値をつけていく
- ・ 魅力的な個店 ・ 数値に表れない地元への貢献をしてくれている個店への支援も必要

■全体

- ・ 「ものづくりのまち」の定義を明確に
- ・ 都市型ものづくり ・ もの創り メイキングからクリエイティブへ
- ・ 住民を巻き込み、まち自体がものづくりを残す努力を
- ・ 地産・地商 すみだらしい言葉で表現を
- ・ プロモーション、メディア戦略を考えた方がよい ・ 観光業との連携

前回の審議で出された意見・キーワードを列記。

産業振興についてのまとめ

第1部会 産業・商業分野

2 10年後の未来予想図

産業振興「新たな価値を創出し続ける、活力にあふれるまち」

ものづくりのまちとして培われてきた技術・技能を礎に、人と人とのつながりによる垣根を越えた連携を通じて、多様なニーズに応える、付加価値が高い様々な商品が生まれています。事業者の活動を地域全体でサポートし、誰もが自分らしく働き続けられるまちをめざします。

■挑戦し続ける

時代の変化を捉えながら、産業構造の転換、技術の革新に適応していくことが、産業の活力につながります。新たな価値の創造に向け、既存事業者も、新規創業者も、誰もがチャレンジできる環境をつくれます。

■価値を理解し、応援する

区民も事業者も、区内でつくり、提供される製品やサービスの価値を理解し、自ら購入し、使用するとともに、つながりの中で魅力を伝え、地域ぐるみでその価値を高めていきます。

■自分に合った働き方ができる

子育て中の人や高齢の方、障がいの有無や性別に関わらず、一人ひとりが自身の特性に合わせて働き方を選択でき、自分の能力を十分に発揮できるまちをつくれます。